



校訓
 誠実 連帯
 立志 進取
 拓魂 創造
 教譽 隆

二中だより

第39号

令和7年2月19日(水)発行

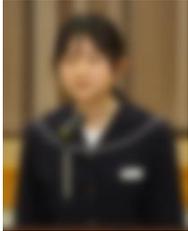
校長 谷口 実

後期生徒総会

1月30日(木)、後期生徒総会が開かれました。生徒会スローガン「気炎万丈～仲間と共に燃え上がれ」の下、執行部を中心に様々な活動を行ってきました。議事では生徒会の活動反省等、学級活動の反省、委員会活動の反省、部活動の反省に対する質疑応答がありました。これからの二中のためにという思いがある質問や意見が多く、とてもよい生徒総会だったと感心しました。



また、生徒総会終了後に、次年度の生徒会執行部の認証式を行いました。3学期からさまざまな準備にとりかかっていくことになります。執行部の皆さん、忙しいとは思いますがよろしくお願ひします。



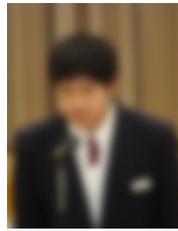
会長
福岡 凜



副会長
石岡咲生



副会長
伊藤奨真



執行部員
柳田伊吹



執行部員
福岡 優



執行部員
嶋中矢子

全校道徳 (いじめ防止プログラム)

2月10日(月)4校時、本校の乙供教諭を授業者として全校道徳を行いました。題材は「温かい言葉かけはどんなことに役立つか考えよう」です。

シナリオを準備し、3～4人のグループで、温かい言葉かけと冷たい言葉かけをお互いにし合うことで、どんな気持ちになるか体験する授業でした。実際にやってみるとなると照れくささもあつたと思いますが、一生懸命演じていました。その後、実際にどんな気持ちになったのかを発表しあつたりしました。生徒の皆さんの振り返りをいくつか紹介します。

「今日の授業を通じて、温かい言葉と冷たい言葉を使った時の違いはとても大きいと思ひました。相手も自分も優しい気持ちで過ごせるように、温かい言葉を使ひたいです。」

「同じ状況でも温かい言葉と冷たい言葉でこれからの心や体のモチベーションに大幅な違いがあることがわかりました。優しい言葉は、言う方も言われる方も心が温まるので、日常では温かい言葉をどんどん使ひたいと思ひました。自分の気持ちを優先して言うのではなく、『これと言うと相手はどう思ひかな』と考えて発言できるようにしていきたいです。」

「相手の気持ちを考えながら発言するという事は改めて大事な事だと思ひました。自分もこれから先輩の立場になるので、そのようなところを今よりも意識して生活していきたいです。」

「冷たい言葉はなるべく言わないようにして、温かい言葉を使うように日々心がけたいです。グループで2つのパターンの役を演じてみて、実際起こつた時どうすればいいかを考えることができてました。」

